1979 ことしへ歩を ふり返って

早いもので、こどもあと残すところわずかとなりました。ことしは〝国際児童年〟ということで、子どもを中心とした各種の記念行事が繰り広げられましたが、皆さんの家庭ではどのような一年でしたか……

そこで、今月はこの一年をふり返って、市政についての話題をひろってみました……

住みよいマチづくりのために

○……八〇年代のステップとすることしは、市議会第一回定例会で原田市長が施政方針で述べたように今年度の目標を〝市民生活基盤の整備〟〝豊かな地域社会の形成〟〝産業振興と港湾都市機能の整備〟を三本の柱として、総額八十三億円（一般会計）でスタートしました。

○……また、四年間の市政を託す市議会議員選挙が四月に行なわれ、市民の代表として三十人の議員が決まりました。

市議会議員選挙後、初の市議会第一回臨時会では、十三代目議長に村上勇氏、副議長に高橋信郎氏また監査委員に国崎広隆氏を選出、各常任委員会の委員を選任しました。

○……〝市民の手による新しい総合計画〟を目標に、昨年三月に発足した「市新総合計画市民協議会」（会長古川数登）による基本構想が昨年十一月に市長へ答申され、ことしは各部会で都市診断書の検討や基本計画の審議を行ない、ことし十一月には、基本計画に対する意見書を提出し、協議会は、その役目を終えました。

○……電源立地の可能性を市民で協議している〝市電源立地可能性調査協議会〟（会長木村繁太郎）からは、各地点の気象、海象、環境についての調査結果に基づいて、三月に原田市長へ二回目の答申書を提出されました。

豊かな地域社会の形成

○……ことしは国際児童年という意義ある年を迎かえ、市内では各種の記念事業が行なわれました。十月には、お母さんや子供たち約五百人が参加して〝親子まつり〟が留萌小学校で開催されました。

○……将来の社会を担う人間教育の場づくりとして、また通学区域の将来展望にたって東光小学校に四教室の普通教室を増設、また、短い夏を子供たちに十分楽しんでもらうため青少年プールに上屋を建設しました。

○……ことしは市内の小学校の開校記念式典が相次いで行なわれ、特に留萌小学校では開校百周年という意義ある年を迎かえました。

○……昨年ナイター施設が設置された〝市民運動広場〟は自衛隊の協力で拡張工事が進められており、来年には、ソフトボール四面がとれる広い面積となります。

○……体育、スポーツの振興としては、弓道場の整備を図る一方、最近のテニス人口の増加に伴ないテニスコート一面が文化センター裏に完成しました。

○……管内医療センターの中枢をなす市立総合病院の機能は、益々向上しており、ことしは一億八千万円で人工透析室を増設し、新たに、七台のベットを導入し、明年二月ごろ完成の予定です。

○……市民の生命と財産を守る留萌消防組合には、ことし日本損害保険協会から消防自動車〝飛竜〟と留萌ライオンズクラブからは無線装置を備え付けたマイクロバスが寄贈され、機動力も大きくアップされました。

産業の振興と生活安定に

○……留萌市発展の核をなす〝留萌港〟の整備も着々と進められており、ことしは西防波堤を百二十六㍍延長しました。

○……本市経済の中核をなす中小企業の振興として、特別小口貸付制度の貸付限度額を七十万円から八十万円に引き上げ、また、中小企業特別融資制度の利率を緩和しました。

さらに、これらの企業に働く人たちの生活安定を図るため、四月からは〝勤労者生活資金貸付制度〟がスタートしています。

明るく快適な基盤整備に

○……快適な生活環境をめざして、ことしは延長四千八百㍍におよぶ道路の舗装新設を行ないました。

これで、市街地の舗装率は約半分の五一・四九㌫に達しました。

○……環境衛生都市となるための基礎的な事業である下水道事業は、ことし約六千万円を投入して夏井商店（明元町五）から拓銀留萌支店前までの延長二百四十㍍に雨水管を布設しました。

これで、雨水管は四百八十㍍布設されたことになります。

○……また、昨年からブロック別分割方式で本格的に工事が進められている〝高砂土地区画整理事業〟は、ことしも一億八千万円を投入して、早道通りの改良舗装や区画街路の造成、建物移転などを行ないました。

○……昭和六十年を完成目標に急ピッチで進められている〝浜中運動公園〟は、二年目のことしも三千万円を投入して冒険広場および遊ぎ広場の造成を行なっています。

○……緑豊かな留萌のマチづくりをめざして、ことしも、いろいろな緑化事業を行ないました。

望洋公園やあかしや公園、ひまわり公園などには、クロマツやニセアカシアなどを植樹、また、街路緑化としてマリーゴールドやサルビアなども植え付けました。

基本計画の意見書を提出して 市民協議会の任務を終える

〝留萌二世紀の指標を市民の手で〟と、昨年三月発足した《留萌市新総合計画市民協議会—古川数登会長》は、最後の基本計画に対する意見書を、さる十一月十三日原田市長に提出し、その役目を終えました。

同協議会は、留萌市新総合計画（昭和六十二年まで）の策定にあたって、昨年三月、市長から一般市民や経済、産業界から五十名の委員を委嘱、それぞれの分野に沿って教育文化、産業振興、基盤整備、社会開発など五部会に分れて所属、それぞれの部会で約一年半という長期にわたって計画についての試案審議等を重ね、昨年十一月には四章からなる基本構想案を市長に答申、また都市診断等を基礎として学識者との懇談、研修等を重ね、基本構想を基に策定された基本計画に対して意見を具申、その役割りの総てを終えたものです。

市政この一年

▽一月　15日留萌市成人式々典を挙行、四百九十四人（男二百四十九人、女二百四十五人）が大人の仲間入りをする　17日第一回新春市民ピアノコンサートを開催　19日潮静小学校の三学期が新校舎でスタート

▽二月　4日第三回商工勤労青少年友好バレーボール大会を開催　11日第三回市民雪まつりは、雪不足のため中止となる

▽三月　7日市電源立地可能性調査協議会（木村繁太郎会長）から市へ二回目の答申がされる　9日第一回定例会を開会、今年度は一般会計八十三億六千三百五十九万円でスタート　31日労働会館が廃館となる。

▽四月　市の勤労者生活資金貸付制度がスタート　8日知事、道議会議員選挙投票日、東道議が無投票当選　22日市議会議員選挙投票日

▽五月　3日園芸市を開催　5日市民憲章実践の日　8日第三十六回道北市長会を留萌市で開催　15日第一回臨時会を開会、議長に村上氏副議長に高橋氏が選任される　20日第十八回市民公園まつり・市民植樹祭を浜中運動公園で開催

▽六月　9日市民演劇の夕べを開催　18日第二回定例会を開会、助役に石黒収入役、収入役に尾池民生部長、教育委員に杉本庄太郎氏が選任される・公民館の市民講座がスタート

▽七月　8日潮静小学校が開校八十周年　22日道民スポーツ留萌夏季大会で留萌市が総合優勝　30日市石油等需給対策推進本部（本部長原田市長）が発足・ことしの市青少年善行表彰式で七人が表彰される

▽八月　1日第三十一回商工港まつりを開催　2日屋根付きプールがオープン　16日北海道こどもの船が留萌港を出港　19日峠下町開基八十周年、峠下小学校開校七十周年・浜中会館が完成　21日三船殉難慰霊祭

▽九月　6日泰東丸の捜索が始まる　7日第三回定例会を開会、一般会計に約九千七百万円を補正　9日幌糠小学校が開校八十周年　21日文化庁移動芸術祭〝ガルメン〟を公演　29日姉妹都市ウラン・ウデ市から代表団三名が来留　30日留萌小学校が開校百周年

▽十月　7日衆議院議員選挙投票日　10日国際児童年を記念して〝親と子の集い〟を開催　20日低所得者生活資金貸付制度がスタート　28日市民俳句大会を開催

▽十一月　3日ことしの市文化賞を阿部清晴氏に文化奨励賞を留萌地方美術協会に贈呈　13日市新総合計画市民協議会（古川数登会長）が解散　25日瀬越会館が完成